

採水及び容器送付手順のご案内

内分泌かく乱化学物質の水道水からの暴露等に関する調査」 採水及び容器送付手順のご案内

1. 送付内容

送付物の内容は次のとおりです。ご確認ください。

品名	数量	備考
□ガロン瓶	6	フェノール類分析用
□2L透明摺ガラス瓶	3	フタル酸エステル類分析用
□250mLねじ口ガラス瓶	3	塩化ビニルモノマー、スチレンモノマー等分析用
□アスコルビン酸ナトリウム	1	試薬
□採水及び容器送付案内状	1	採水及び送付内容確認用(本状)
□添付ラベル	12	容器に添付するラベル(検体名、採取場所など記入)
□返送用宅配便伝票	4	着払い用
□返送用段ボール	4	容器送付時に使用したもの
□返送確認用FAX用紙	1	返送連絡用FAX送信票

2. 採水地点

各浄水場の系統ごとに、原水、浄水、給水栓水の3地点

3. 採水容器及び採水方法

(1)採水容器

1地点についてガロン瓶2本、2L透明摺ガラス瓶1本、250mLねじ口ガラス瓶1本の合計4本になります。また、容器は調査対象項目の汚染がないよう、容器のフタは採水のときまで開けないで保管して下さい。

(2)採水方法

①採水は、試験を行う上で重要な要素になるので次の共通事項を守り、各容器ごと個別の採取方法に従って採取して下さい。

②共通事項

採水は、管内の滞留水を十分排出して、一定水温になってから試料水で試料容器を3回共洗いしてから採取して下さい。この際、試料水は、直接採取するか、分析に支障をきたさない金属製(例えばステンレス製のバケツ・ロート)の採水器具を使用して下さい。

③採水地点での注意事項

○原水

- ・取水口で採水する場合は、採水容器からの汚染がないようにして下さい。
- ・水面下で採水する場合は、プラスチック、ゴム等、汚染が懸念される材料を使用した採水器の使用を避けて下さい(避ける採水器の例：バンドーン採水器)。
- ・着水井で採水する場合で、原水採水ポンプラインからの汚染が懸念されるときは、試料を直接又は汚染のない容器で採水して下さい。

○浄水

- ・浄水採水ポンプラインからの汚染が懸念される場合は、試料を直接又は汚染のない容器で採水して下さい。
例：浄水池から直接採水する。
送水ポンプキャナルからステンレス製器具を用いて採水する。
送水ポンプに設置された金属製等の汚染のない採水口を利用する。

○給水栓水

- ・試料を直接採水容器に採水して下さい。

④個別容器の採取方法

・ガロン瓶

容器内に試料水を静かに採取し、満水にして密栓して下さい。残留塩素が含まれている場合は、アスコルビン酸ナトリウムを0.3g添加して下さい。

・2L透明摺ガラス瓶

容器内に試料水を泡立てないように静かに採取し、満水にして密栓して下さい。この容器はフタル酸エステル類分析用のため、栓にビニールテープなどのシール類は巻かずに、送付した金属製クリップにより栓を固定し、摺り合せ部をアルミホイルで覆って下さい。

・250mLガラス瓶

試料は、泡立てないように静かに採取し、残留塩素が含まれている場合は、残留塩素1mgに対して、アスコルビン酸ナトリウムを0.01~0.02gの割合(ミクロスパーテルで1~2杯)で加え、気泡が入らないように満水にして直ちに密栓して下さい。

⑤採水容器に、同封のラベルに採取日及び採取場所等必要事項を記入し、容器に貼付して下さい。

⑥返送連絡用FAX送信票に必要事項を記入して下さい。

4. 梱包

①返送は段ボール箱4個口となります。

②ダンボール箱に梱包し、すき間に新聞紙等を詰め、中身が動かないようにして下さい。

③運送中に試料水が漏れぬよう容器のキャップは確実に締めて下さい。

④採水容器、ラベル等、梱包漏れがないかもう一度ご確認下さい。

梱包物の内容は次のとおりです。ご確認下さい。

品名	数量	確認事項
<input type="checkbox"/> ガロン瓶	6	キャップ、漏れ、破損がないか。
<input type="checkbox"/> 2L透明摺ガラス瓶	3	ガラス栓、漏れ、破損がないか。
<input type="checkbox"/> 250mLねじ口ガラス瓶	3	キャップ、漏れ、破損がないか。
<input type="checkbox"/> ラベルの添付	12	容器にラベルが添付してあるか。記入もれがないか。
<input type="checkbox"/> 返送用宅配便伝票	4	返送用段ボールに添付。
<input type="checkbox"/> 返送用段ボール	4	、破損等がないか。

5. 送付

①必ず、試料を採取した当日に送付して下さい。

②同封の宅配便伝票を用い要冷蔵+5℃(クール便)にて送付して下さい。料金は着払いとなります。

③試料送付当日、同封の返送連絡用FAX送信票に必要事項を記入し、財団法人千葉県薬剤師会検査センター宛に送信して下さい。

6. 送付先及び問い合わせ先

ご不明な点等ございましたら「財団法人千葉県薬剤師会検査センター」までご連絡下さい。

財団法人千葉県薬剤師会検査センター
技術検査部 山崎雅之・松本年雄・濱田孝敏
〒260-0024 千葉県千葉市中央区中央港1-12-11
TEL 043-242-3800
FAX 043-242-3850

水質調査用容器添付ラベル	
No.	
事業体名	
採水者	
採水場所	
種類	<input type="checkbox"/> 原 水 <input type="checkbox"/> 浄 水 <input type="checkbox"/> 給水栓水
採水日	平成10年 月 日

返送連絡用 F A X 送信票

平成10年 月 日

F A X	0 4 3 - 2 4 2 - 3 8 5 0
-------	-------------------------

送信先	(財)千葉県薬剤師会検査センター
	技術検査部 O A 室

「内分泌かく乱化学物質の水道水からの暴露等に関する調査」の試料を以下のとおり、送付しましたので連絡します。

試料送付通知	送信枚数	枚 (送信票含む)
--------	------	-----------

送信元	試料送付日	月 日
	個 数	地点 個口
	事業体名	
	所 属	
	担当者名	
	T E L	
	F A X	
調査地点 の名称	1 原 水 :	
	2 浄 水 :	
	3 給水栓水 :	
連絡事項		